



ぬくもり通信

2021年5月号 NO. 46

ホームページアドレス

令和3年5月6日 牛久精神保健福祉会発行

代表 遠藤むつよ Tel/Fax(873)0080

<http://www.ushiku-shimin.jp/ucvvcv/index.htm>



令和3年度総会も《開催中止》に!!

4月24日に開催予定でした総会は、今年度も新型コロナウイルスが収束せず、変異型ウイルスの急速拡大により開催は皆様の健康第1に、書面採決とさせて頂きました。

議事6案については、承認34世帯、未回収1世帯で全案可決されました。

当会に対する皆様のご意見、要望などは特に無く、発展と労いの言葉を頂きました。

◇今年度 一般会員数:35世帯(1世帯退会)
賛助会員数:15名(議決権無し)
団体賛助会員:1団体(議決権無し)

◇新年度委員

7名の委員の内4名が退任となりました。

氏名と役割は総会資料をご覧ください。

◇今年度活動実施計画

★通信は年に4回(5月,9月,12月,3月)の発行予定です。今までは6回発行でした。

今年度は委員が3人しか居りませんので、

十分な活動に至らない時はご容赦ください。

♥予約制の相談を受け付けます

新たな試みとして定例会の後、午後3時から、就労支援事業所ほっとピア・ワークスに勤務の多田公樹氏(精神保健福祉士・社会福祉士・精神障がい者ピアサポート専門員)が相談役として参加して下さいます。

定例会毎に2名迄の予約を受け付けます。

♡定例会では話しにくい。個別に聞いてもらいたい。専門的な意見も聞きたい。等有りましたら事前に連絡してください。

当事者も一緒に相談できます。

○相談予約⇒代表:遠藤まで

携帯番号 080-5192-8687

Tel/Fax 029-873-0080

家族会は20年になりました!!

早いもので2001年(平成13年)に9人で始まった家族会でしたが、今年で満20年を迎えました。

誰にも言えない家族の心の苦しみを、唯一話し合える場所として家族会は発足しました。支えあい・学びあい・働きかけの3本柱で今日まで活動してきました。

2003年には、地域活動支援センターを市に要望して福祉センター内に設置出来ました。2007年には、つくば・龍ヶ崎・牛久の3家族会の力で、社会福祉法人「ゆっこら」を立ち上げました。2016年には、地域活動支援センターを再設置し、2019年にはマル福(精神保健福祉手帳で医療費の全額無料)を1級の手帳までですが、県議会で可決しました。

精神を患った者たちが、安心・安全に暮らし、いていける制度や環境を作っていく次世代を継承して頂きたいと願っています。

遠藤

<当面のスケジュール>

※コロナ感染状況で、牛久市の福祉施設が利用できない場合は定例会も中止になります。

9月以降の予定は、通信9月号をご覧ください。

日 時	内 容	会 場
5/22(土) 13:30~16:00	【定例会】 懇談・お知らせ 個別相談	中央生涯学習センター 大講座室
6/26(土) 13:30~16:00	【定例会】 懇談・お知らせ 個別相談	中央生涯学習センター 大講座室
7/24(土) 13:30~16:00	【定例会】 懇談・お知らせ 個別相談	中央生涯学習センター 大講座室
8 月	お休みです	

※マスクを持参してください。

テーブルの配置や片付けのお手伝いを宜しくお願いします!

2月3月定例会の報告

2/27は9名の参加があり、3/27は11名の参加で、テキスト「親亡き後に備える」の読み合わせをした後、どんな備えをしているのか、また抱えている悩みを出し合い、会員さんの体験や工夫を交流しました。

Nさん⇒妻が亡くなって1年が過ぎました。

妻はなくなる3年程前から、息子にご飯炊き、洗濯の指導や週1で風呂、トイレの掃除等、身に着けさせていました。

妻名義で障害年金基金を掛けていたので、本人は2級の障害年金受給だが、一人になっても何とか生活していけると思う。

Nさんのお話に皆さん感心しながら、

- ・まだ親亡き後を考えていない。
- ・家の中の断捨離をした。
- ・遺言書を書いている。
- ・成年後見はまだ考えていない。
- ・成年後見を勉強したが、利用しなかった。
- ・これから、真剣に取り組みたい。
- ・夫婦で働いた分を少しでも子供に残したい。
- ・中3から引きこもり、バイトをしたり辞めたり昼夜逆転。障害年金は受けていない。健康保険料を息子名義で払うように手続きしたい。医者に相談して障害年金を受給したい。
- ・引きこもりで、母親と会話をしない。昼夜逆転している。医者に掛かっていない。

等、深刻なお話もあり意見が交わされました。



寄付金とバザー用品寄付のお礼

○一般会員4名様より合計5400円
(名前と個々の金額は控えさせていただきます。)

賛助会員：小松様3,500円、佐藤正臣様1,500円を頂きました。

○バザー用品を寄付して下さった方々

- ・日用雑貨類多数：小坂団地の大久保様
- ・手作り飾り物：神谷2丁目の稲葉様
- ・手作り小物：会員臼井様の実母様
- ・衣料品・バック：賛助会員の鈴木様

※会の運営に使わせていただきます。

温かいご支援有難うございました。

家族会の発足20年を記念して、初代会長のメッセージを頂きました。



家族会の発足20年に想う part 1

初代会長：北岡忠憲

ぬくもりの会の前身である「ほっとピア牛久の会」が発足したのは、2001年5月21日のことでした。

その10日後の5月31日に、ほっとピア牛久の会の親組織である龍ヶ崎地方精神障害者後援会(通称=たつのこ会)の再生総会があり、私が同会の会長に就任するとともに、ほっとピア牛久の会は、たつのこ会の牛久支部として活動することになりました。

その後2007年5月に「たつのこ会」が発展的に解消されて、牛久を含む4つの支部(龍ヶ崎、牛久、取手、利根)はそれぞれ「単位家族会」として独立。以後、ほっとピア牛久の会は「茨城県精神保健福祉会」に加入する独立の家族会となり、2009年の会名変更(新名称=ぬくもりの会)を経て現在に至っています。

以上が20年史の概略のスケッチですが、この20年史の中で私が会長として関わったのは僅か6年間の草創期だけ。あとの14年間は遠藤会長代行が2期、西村会長が4期、遠藤会長が8期とそれぞれ苦勞を背負われて来たわけで、従って20年史を語るとすれば、その大方は遠藤・西村のお二方に語っていただかなくてはならないでしょう。

私が関わった草創期について云えば、現在の会員さんはほとんどご存知ない、ほっとピア牛久の会誕生までの“生みの苦しみ”について、まずお話ししたいと思います。

ほっとピア牛久の会の誕生のためには、実は三つの方面での「闘い」が必要だったのです。

①自主的な家族会の誕生を妨害する自称ボランティアI氏との闘い。②親組織である龍ヶ崎地方精神障害者後援会の民主化の闘い。③家族会の自主自立の活動を妨害する立場に豹変した竜ヶ崎保健所の保健師Z氏との闘いです。

(つづく)

ワクチン接種がなかなか進まず、自粛ばかりが要求されていますが、ゴールデンウィークのさなか自然観察の森で、親子連れが虫やおたまじゃくしを見つけ歓声を上げていました！ 森林浴でリフレッシュしました。

(E記)